

第109期 中間報告書

令和3年4月1日～令和3年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第109期第2四半期連結累計期間（令和3年4月1日から令和3年9月30日まで）における事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

令和3年12月



代表取締役社長

亀井文行

コーポレート・スローガン

くらしの中に未来をひらく

企業理念

当社は地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。

事業の概況

企業集団の事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、一部地域では経済活動が再開されるなど景気回復の兆しが見られるものの、変異株による感染拡大が続くなど先行き不透明な状況が続いております。

国内経済においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等の断続的な発令により経済活動が制限されるなど、厳しい状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症により事業活動に制約を受けながらも、お客様や従業員の安全確保と感染拡大防止を最優先としつつ、商品の安定供給とサービスの提供継続に努めました。また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともにM&Aによる事業領域の拡大に積極的に取り組み、Eastern Green Marketing Pte. Ltd. 及びAlamanda Singapore Pte. Ltd. (シンガポール共和国において青果の輸入卸販売を展開)を当社グループに迎え入れ、海外・貿易事業の強化を図りました。さらに、環境の変化に対応すべく、組織、財務、物流などの改革を推進し経営の効率化に努めました。

以上の結果、売上高は原油価格上昇に伴う石油製品価格の上昇などにより2,029億14百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は海外・貿易事業の伸長や自動車関連事業における自動車販売台数の増加などにより47億75百万円（前年同期比36.2%増）、経常利益は54億38百万円（前年同期比33.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に計上した関連会社の株式を交換したことに伴う特別利益がなくなったことなどにより32億90百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

なお、第109期の中間配当金につきましては、当初の予定どおり当社普通株式1株につき17円50銭とさせていただきます。

(単位：百万円)

	第2四半期 連結売上高	第2四半期 連結営業利益
第109期	202,914	4,775
第108期	173,024	3,505
第107期	211,907	3,875

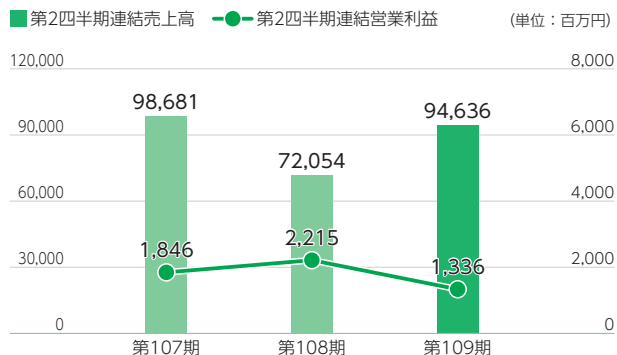
事業の概況

エネルギー事業



当事業部門における石油関係につきましては、ガソリンスタンドでの販売は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮して営業するとともに、タイヤ・整備・洗車・コーティングなどトータルサービスの強化を図りました。また、店舗のリニューアルやカーコーティングプロショップの新規出店など、競争力の強化に努めました。その他産業用燃料などの法人需要向け販売は、石油製品価格の上昇や石油製品需要が減少する厳しい環境のなか、新規・深耕開拓や各種商材の提案営業を強力に推進しました。

LPガス関係につきましては、外出自粛や営業時間短縮により飲食店向けの販売が厳しいものの、新規顧客獲得やM&Aによる商圈獲得に取り組み、拡販に努めました。

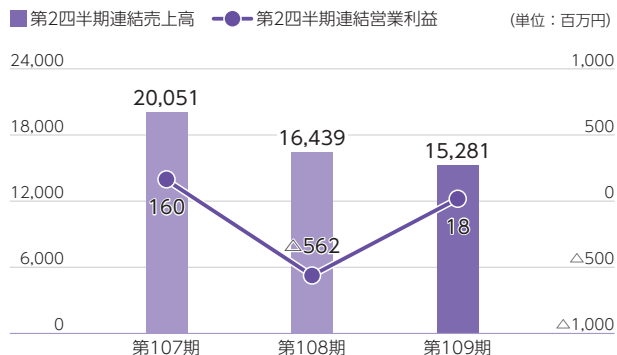


食料事業



当事業部門における食品関係につきましては、前年同期の外出自粛や営業時間短縮による大幅な外食需要減少の反動などにより、飲食店向けの畜産加工製品の販売が増加しました。また、高級洋菓子原材料の販売が新規・深耕開拓に努めたことにより伸長し好調に推移しました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取扱商品拡充に努めたものの、飲食店に対する酒類提供の制限などにより需要が減少し、やや厳しい状況となりました。

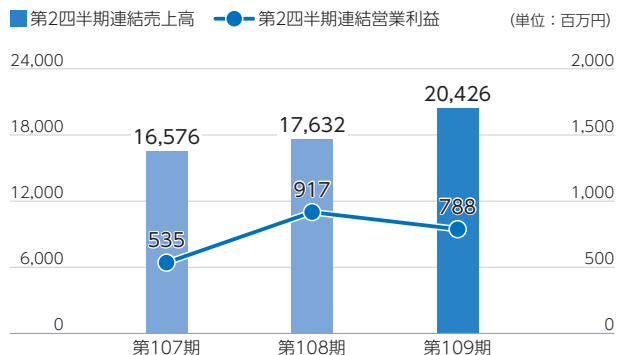


建設関連事業



当事業部門における建設資材関係につきましては、大型鉄骨工事が増加したものの、鋼材価格上昇に伴う利益率の低下などにより営業利益が減少しました。

ハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、新規・深耕開拓に努めました。



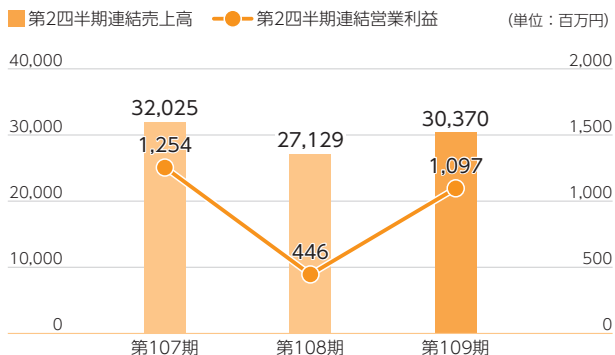
自動車関連事業



当事業部門における国産車販売につきましては、消費マインドの持ち直しに加え、法人営業の強化に努めたことなどにより販売台数が伸長し、好調に推移しました。

輸入車販売につきましても、消費マインドの持ち直しや新車の拡販に努めたことなどにより販売台数が伸長し、好調に推移しました。

レンタカー関係につきましては、法人客の新規・深耕開拓に努めたことや、前年同期に比べてビジネス需要が増加したことにより好調に推移しました。



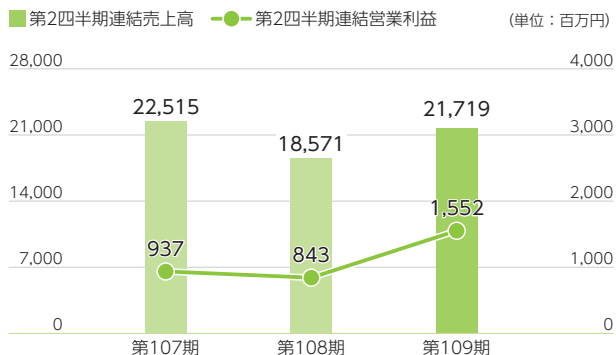
事業の概況

海外・貿易事業



当事業部門における海外事業関係につきましては、コロナ禍での巣ごもり需要による米国内で展開する日系スーパーマーケットの販売伸長などにより好調に推移しました。また、シンガポールの青果の輸入卸販売会社をM&Aにより取得し、海外事業の拡大を推進しました。

貿易事業関係につきましては、経済活動の再開や需要の回復などにより、アジア向け自動車用電装部品や米国向け日本食材などの輸出が増加したほか、海外ブランドシューズなどの販売が伸長し順調に推移しました。

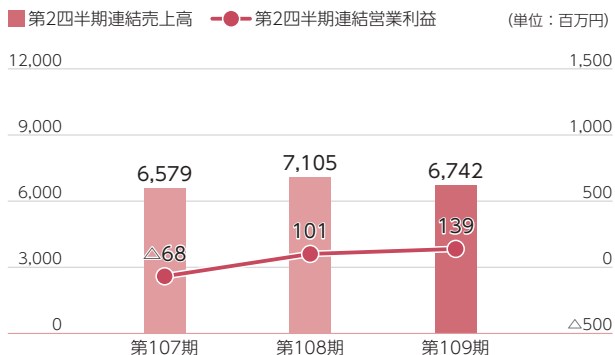


ペット関連事業



当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めたものの、販売競争の激化により、やや厳しい状況となりました。

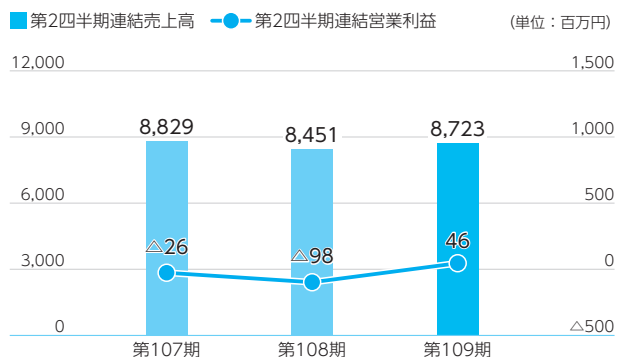
園芸用品関係につきましては、外出自粛に伴う家庭用園芸資材の販売が堅調だったほか、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓を推進したことにより順調に推移しました。



ファーマシー事業



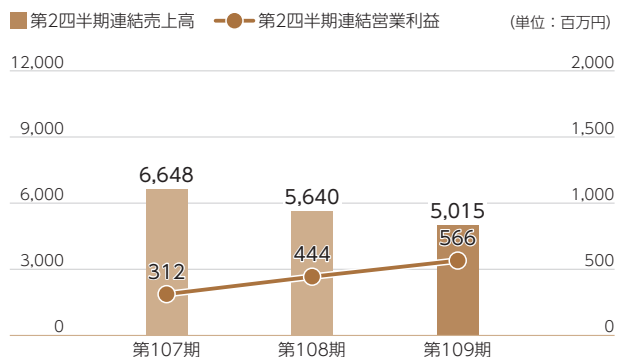
当事業部門につきましては、新規出店による店舗網の拡充効果や地域の皆様から選ばれる「かかりつけ薬剤師・薬局」への取り組みなどにより処方箋枚数が伸長し、堅調に推移しました。



その他の事業



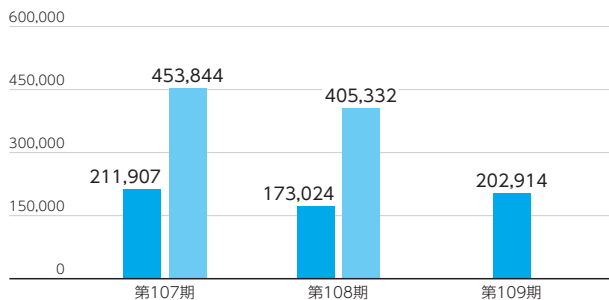
その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規顧客の獲得や提案営業の強化に努めました。



連結業績の推移

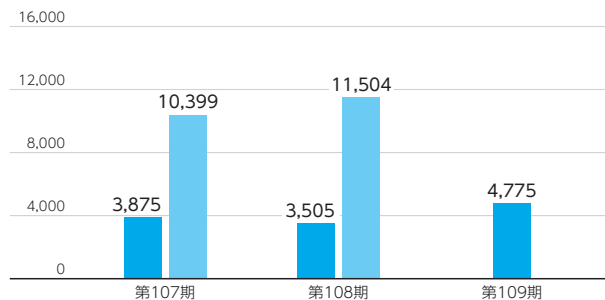
売上高

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



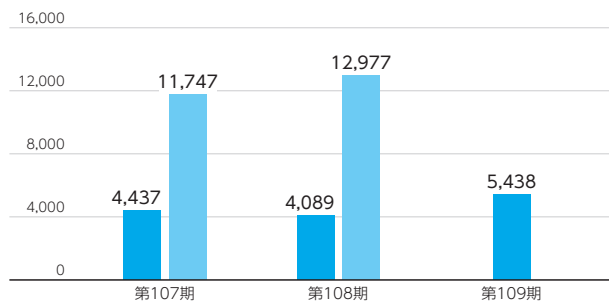
営業利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



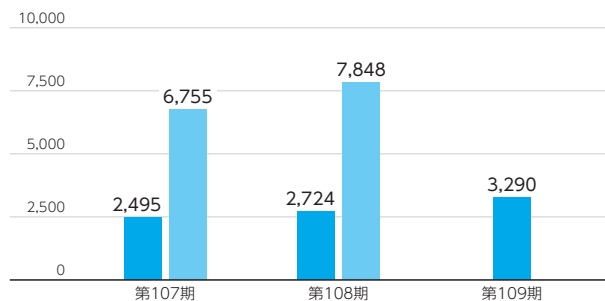
経常利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



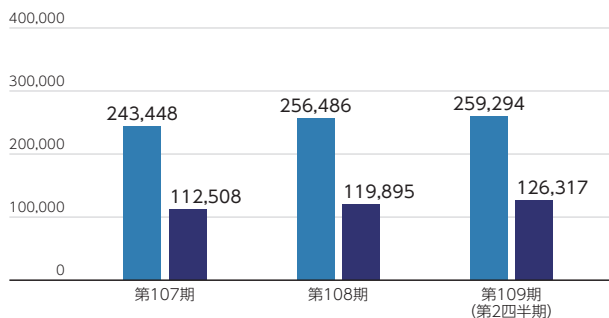
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



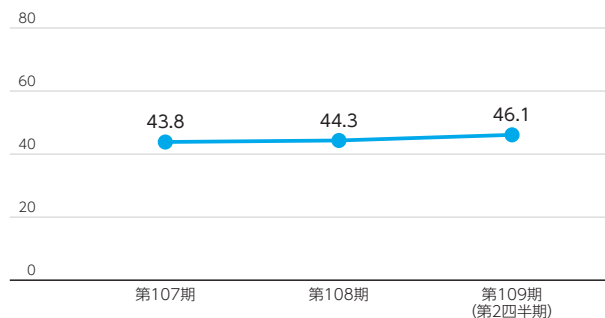
総資産・純資産

(単位：百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



自己資本比率

(単位：%)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	令和3年9月30日現在	令和3年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	153,419	156,253
固定資産	105,874	100,233
有形固定資産	74,646	71,913
無形固定資産	7,159	4,540
投資その他の資産	24,069	23,780
資産合計	259,294	256,486
(負債の部)		
流動負債	104,696	109,724
固定負債	28,280	26,866
負債合計	132,977	136,590
(純資産の部)		
株主資本	115,710	111,054
資本金	8,132	8,132
資本剰余金	7,248	7,248
利益剰余金	104,557	99,901
自己株式	△4,227	△4,227
その他の包括利益累計額	3,838	2,576
非支配株主持分	6,768	6,264
純資産合計	126,317	119,895
負債・純資産合計	259,294	256,486

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	令和3年4月1日から 令和3年9月30日まで	令和2年4月1日から 令和2年9月30日まで
売上高	202,914	173,024
売上原価	169,444	141,082
金融収益	423	—
売上総利益	33,894	31,941
割賦販売未実現利益戻入額	—	4,700
割賦販売未実現利益繰入額	—	4,784
差引売上総利益	33,894	31,857
販売費及び一般管理費	29,119	28,352
営業利益	4,775	3,505
営業外収益	1,277	954
営業外費用	613	370
経常利益	5,438	4,089
特別利益	38	744
特別損失	247	312
税金等調整前四半期純利益	5,230	4,521
法人税等	1,756	1,564
四半期純利益	3,474	2,957
非支配株主に帰属する四半期純利益	183	233
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,290	2,724

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	令和3年4月1日から 令和3年9月30日まで	令和2年4月1日から 令和2年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,864	12,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,350	△6,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086	△1,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	663	△206
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△909	4,656
現金及び現金同等物の期首残高	41,812	35,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,903	39,898

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

会社情報 (令和3年9月30日現在)

会社の概要

商号	カメイ株式会社
英文名称	KAMEI CORPORATION
本社所在地	仙台市青葉区国分町三丁目1番18号
設立	昭和7年12月29日
資本金	81億32百万円
連結対象会社数	連結子会社 44社 持分法適用会社 4社
売上高	(令和3年3月期) 連結 4,053億32百万円 個別 2,547億17百万円
従業員数	(令和3年3月末) 連結 5,213名 個別 2,024名
カメイグループ	国内52社、海外法人23社

役員及び執行役員

代表取締役社長	亀井文昭	行男
代表取締役副社長	亀井啓	之市
専務取締役	高橋部	仁光
専務取締役	高橋清	淳一
常務取締役	高佐藤	文一
常務取締役	高佐藤	幸雄
取締役相談役	尾井	康一
社外取締役	尾井	樹寛
社外取締役	三々木	徹司
社外取締役	佐後藤	哲
社外監査役	佐藤山	
執行役員	遠藤	
執行役員	鷲足	
執行役員	菊地	
執行役員	佐藤	
執行役員	相原	
執行役員	鳥居	
執行役員	佐藤	

株式の状況

発行可能株式総数	87,281,000株
発行済株式の総数	37,591,969株
株主数	2,965名

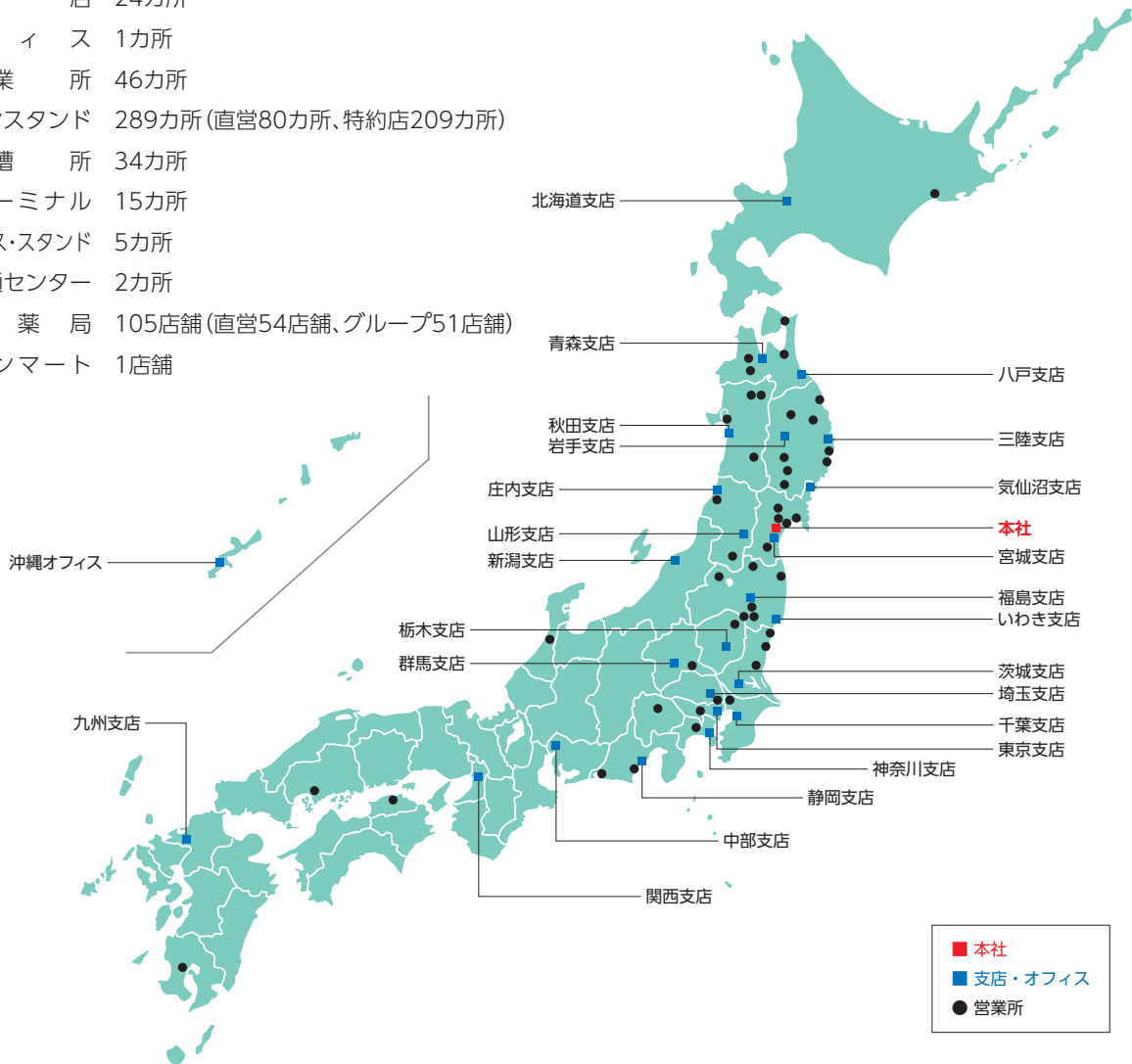
大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,081	9.17
有限会社亀井興産	3,000	8.93
亀井文行	2,506	7.46
カメイ不動産株式会社	2,443	7.27
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,150	6.40
公益財団法人亀井記念財団	1,650	4.91
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,274	3.79
亀井昭伍	1,014	3.02
有限会社グリーン・ウッド	1,000	2.98
株式会社三菱UFJ銀行	689	2.05

- (注) 1. 当社は自己株式3,991,348株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 国内ネットワーク

支店	24カ所
オフィス	1カ所
営業所	46カ所
ガソリンスタンド	289カ所 (直営80カ所、特約店209カ所)
油槽所	34カ所
ガスターミナル	15カ所
オートガス・スタンド	5カ所
食料流通センター	2カ所
調剤薬局	105店舗 (直営54店舗、グループ51店舗)
グリーンマート	1店舗



グループ紹介

エネルギー事業

東北ガス株式会社
栃木液化ガス株式会社
株式会社パシフィック
最上ガス株式会社

株式会社新白河エルピーガス供給センター
株式会社センナンエネルギー
さいとうガス株式会社

食料事業

株式会社樋口米穀
株式会社池光エンタープライズ
ウイングエース株式会社
株式会社ヴィントナーズ
アグリ株式会社
サンエイト貿易株式会社
株式会社コグマ
株式会社アンジェリーナ

ペット関連事業

株式会社オーシマ小野商事
ペットアイ株式会社
トムソンコーポレーション株式会社

建設関連事業

カメイエンジニアリング株式会社

ファーマシー事業

株式会社遠藤薬局
株式会社まろん
株式会社水戸薬局
株式会社アイム
エムシーエス株式会社
株式会社カメイファーマシー東北
株式会社オアシーズ

その他の事業

カメイ物流サービス株式会社
カメイ商事株式会社
ミツモト商事株式会社
株式会社宮城テレビ放送
株式会社ミヤギテレビサービス
富士オイルサービス株式会社
塩釜石油基地防災株式会社

株式会社フィットネスプロモーション
株式会社クロノスメディカルデバイス
株式会社ネクスト仙台
パーソルテンプスタッフカメイ株式会社
株式会社一・四・一
石巻漁港石油配送協同組合

自動車関連事業

仙台トヨペット株式会社
山形トヨペット株式会社
カメイオート株式会社
カメイオート北海道株式会社
オリックスレンタカー・カメイ株式会社
株式会社トヨタレンタリース仙台
仙山テクノクラフト株式会社
株式会社ジェームス仙台

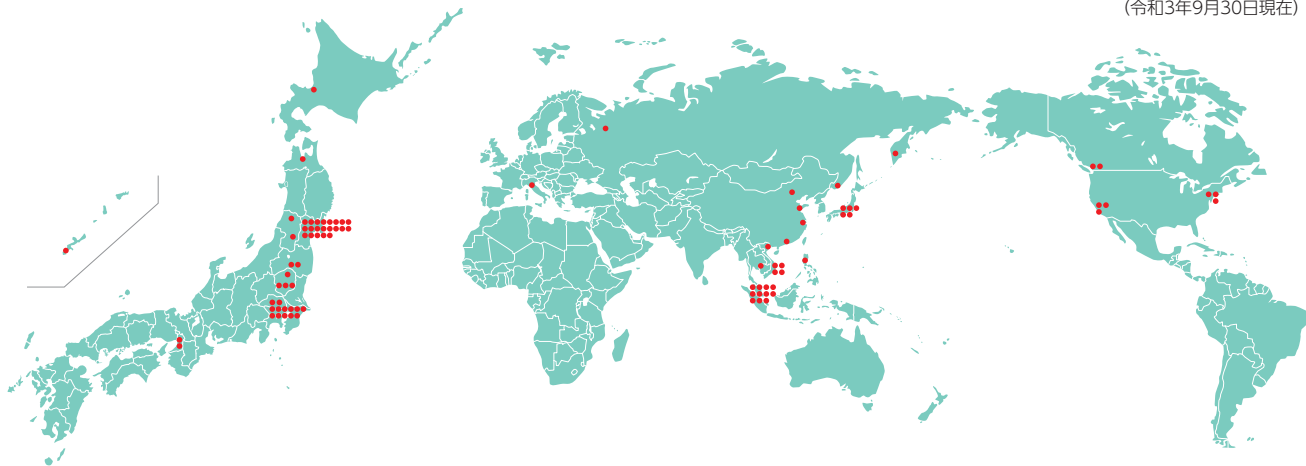
海外・貿易事業

カメイ・プロアクト株式会社
三興メビイス株式会社
KCセントラル貿易株式会社
サンプラザ株式会社
有限会社ナバホスポーツ

海外法人

Kamei North America Co., Ltd.	Lee Huat Yap Kee & Co. Pte. Ltd.
Mitsuwa Corporation	Kamei Energy Singapore Pte. Ltd.
YNJ, LLC	Eastern Green Marketing Pte. Ltd.
Central Boeki U.S.A., Ltd.	Alamanda Singapore Pte. Ltd.
Central Boeki Calif., Ltd.	Santouka Kamei Singapore Pte. Ltd.
Katagiri & Co., Inc.	Kamei Vietnam Joint Stock Company
Santouka Kamei Canada Foods Ltd.	Phu & Em Trading Service Co., Ltd.
Kamei Singapore Pte. Ltd.	Dai Minh Service And Trading Co., Ltd.
Imei (Exim) Pte. Ltd.	Bao Chau International Distribution Co., Ltd.
Lee Huat Yap Kee Pte. Ltd.	Qingdao Saint Sports Co., Ltd.
LHYK Marine Pte. Ltd.	Sanko Mabis (Beijing) Corporation
Translub Marine Pte. Ltd.	

(令和3年9月30日現在)



トピックス

Eastern Green Marketing Pte. Ltd.及び Alamanda Singapore Pte. Ltd.の株式取得に関するお知らせ

当社は、令和3年8月31日、シンガポールの青果輸入卸販売会社であるEastern Green Marketing Pte. Ltd. 及び Alamanda Singapore Pte. Ltd. (以下、「EGグループ」) を当社グループに迎え入れました。

■ シンガポールにおける青果輸入卸販売

EGグループは、シンガポールにおいて青果輸入卸販売を行う会社です。世界20か国以上、300以上のサプライヤーと取引があり、通関手続きから配送までのほとんどを自社で行う体制を構築しております。

グローバルなネットワークを通して新鮮かつ高品質な商品を安定供給できることから、シンガポール国内の主要スーパーマーケット全てと取引しており、絶大な信頼を頂いております。

■ 東南アジアでのさらなる事業拡大に向けて

当社グループは、海外事業の拡大を重点方針としております。これからも、国内・海外グループ会社とのシナジー効果を創出し、成長著しい東南アジア諸国における事業拡大を加速させてまいります。

■ Eastern Green Marketing Pte. Ltd.

所在地 1 Buroh Lane, #02M 03, Singapore 618292

資本金 SGD1,250,003

■ Alamanda Singapore Pte. Ltd.

所在地 21 Wholesale Centre, #01 140, Pasir Panjang
Wholesale Centre, Singapore 110021

資本金 SGD170,000



トピックス

仙台トヨペット株式会社 「大河原バイパス店」 リニューアルオープンのお知らせ

当社のグループ企業であります仙台トヨペット株式会社は、令和3年6月11日、宮城県大河原町の「大河原バイパス店」をリニューアルオープンいたしました。

高級感あふれる居心地の良い空間に

大河原町の国道4号線沿いにリニューアルオープンした「大河原バイパス店」は、高級感あふれる受付やラウンジ、専用の納車室・納車ベイなどを設置し、来店されたお客様をはじめ納車のお客様にもご満足いただける居心地の良いショールームとなっております。

当店は、宮城県南部の中核を担う大型拠点として、地域の皆様に愛され親しまれる店舗を目指しております。これからもお客様にとって価値ある商品やサービスを通じ、快適なカーライフを提供してまいります。

■ 大河原バイパス店 宮城県柴田郡大河原町字新南63-17
TEL 0224-52-3301

仙台トヨペット株式会社

所在地 仙台市宮城野区苦竹2丁目8-1
TEL 022-232-1111
URL <https://www.p-sendai.co.jp/>
事業所 宮城県内20店舗、
レクサス宮城野、
レクサスCPO石巻

TOYOPET  LEXUS



新車をお渡しする納車ベイ

トピックス

「Chateraise PREMIUM YATSUDOKIグリーンmart桂」 オープンのお知らせ

当社は、令和3年9月17日、「YATSUDOKIグリーンmart桂」を、当社が運営するスーパーマーケット「グリーンmart桂店」の店内にオープンいたしました。同店は全国初のフランチャイズ店となります。

■ 東北初となるシャトレゼの都市型ブランド店舗

「YATSUDOKI」は、山梨県の八ヶ岳周辺で作られる牛乳や卵など、厳選した素材を使ったケーキや洋菓子、焼き菓子などを提供する「シャトレゼ」の都市型新ブランドです。

この度オープンしたYATSUDOKIグリーンmart桂は、「YATSUDOKI」の商品を販売する、東北初の店舗となります。



■ グリーンmart桂店は上質な商品をお届けします

グリーンmart桂店は、当社が運営するスーパーマーケットであり、世界各地の上質なワイン、ビール、チーズ、調味料から、地元の新鮮な野菜、魚などの生鮮品まで上質な商品をお客様にお届けしております。

これからも、より多くのお客様にご満足いただけるサービスと商品をお届けできるよう努めてまいります。



■ Chateraise PREMIUM YATSUDOKIグリーンmart桂

仙台市泉区桂1丁目12-1
グリーンmart桂店内

T E L 022-374-6191

■ グリーンmart桂店

仙台市泉区桂1丁目12-1

T E L 022-371-3611



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
公告掲載紙	日本経済新聞

株式事務に関するご案内

1. 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金のお支払いについて

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

